

令和 6 年度対象
教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検・評価報告書

令和 7 年 9 月

豊根村教育委員会

はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号以下「法」という。)第26条第1項の規定に基づき、豊根村教育委員会(以下、「教育委員会」という。)が、教育大綱に掲げた重点項目に対する施策の実施状況、教育委員会の活動状況及び豊根村総合計画(2018～2027)(以下「基本計画」という。)に掲げている「将来目標2 住んでみて！豊根村 ～温かい心でUIターン者を迎え入れる」の各施策に関し、令和6年度に取り組んだ事業について点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

報告書の構成

- I 実施施策の点検・評価
- II 施策の実施状況（事業実績）
- III 教育委員会の活動状況

実施施策の点検・評価

教育委員会の点検・評価については、新教育委員会制度に伴い、教育委員のチェック機能の強化が図られ、教育委員が教育長及び教育委員会事務局のチェックを行う役割を担うため、教育委員に評価をお願いしました。評価シートの評価ABC（A：良くできた、B：普通、C：できなかった）とし、A：5点、B：3点、C：1点で教育委員の平均点A：4.5～5.0、B：3.0～4.4、C：3.0未満で評価を表記しました。

I 実施施策の点検・評価（令和7年3月31日末現在）

基本方針 住んでみて！豊根村 ～温かい心でU・Iターンを迎え入れる～

基本施策

1 学校教育の充実

○現状と課題

- ・小中学校統合後、その後も児童・生徒数は年々減少している状況の中、次代を担う人材を育成するため、山村の自然や生活を教材にした地域教育をはじめ「生きる力」を育む特色ある教育に取り組んでいます。
- ・国際理解教育として海外研修や外国語指導助手（ALT）の派遣を受けて、英語力の向上を図っています。令和2年度から猛威も振るった新型コロナウイルスにより、海外研修が実施できずにいましたが、5年ぶりに派遣先をカナダからオーストラリアに変更し実施することができました。さらに児童・生徒へのタブレットの配布、電子黒板、デジタル教科書の導入・活用を図り、これまでの一斉学習に加え、一人ひとりの能力や特性に応じた個別学習や児童・生徒同士が教え合い学び合う協働学習に取り組んでいます。
- ・連携型中高一貫教育として郡内唯一の県立高等学校である田口高等学校と連携し、豊根中学校と田口高等学校の生徒・職員の交流による効果的な教育を推進しています。今後も引き続き、地域の特性を生かした特色ある教育の充実を図っていく必要があります。
- ・情報機器などの教育設備の更新などについては、計画的に検討し、対応していく必要があります。
- ・豊根中学校は耐震対策も含め改修済みとなっていますが、豊根小学校は、平成17年度の開校から17年以上が経過したことから、メンテナンスや修繕を計画的に進めていく必要があります。

○施策の方針

- ・小・中学校において、学力の向上とともに、村の地域性、環境を生かした特色ある教育活動、交流教育などの実践を続け、個性を伸ばし、自立できる人材、郷土愛を持てる人材を育成します。
- ・地域の人の学校行事や教育活動への参加など、豊根村地域学校協働本部を中心に開かれた学校運営を図ります。
- ・学校以外の場所でも高齢者などが子どもたちに様々な知恵を教えるなど、地域での教育に村民が協力して取り組みます。
- ・学校施設などの整備や維持管理に向け、長寿命化計画の策定や計画的な改修整備、設備機器などの充実を継続的に検討します。

- ・保小中連携、連携型中高一貫など、小規模教育の良さを外部へ発信し、U・Iターンを引き込みます。

○個別施策

1－1 「生きる力」、「確かな学力」を育む学校教育の推進

- ・知育・徳育・体育の調和のとれた教育を実践する。
- ・小規模の良さを活かした保・小・中連携教育、連携型中高一貫教育を充実する。
- ・外国指導助手（ALT）の採用や特別支援教育を推進する。
- ・中学生海外派遣事業を実施する。
- ・豊根村教育研究会補助、現職教育研修事業を実施する。
- ・実力検定テストなどの支援を継続する。
- ・友好自治体小中学校との交流場の場を創出する。
- ・学校部活動の地域移行に向けて、生涯スポーツ活動と連携しながら体制を検討する。
- ・校務支援システムを活用して、教職員・児童生徒・家庭との連絡や情報共有を積極的に行う。

1－2 郷土愛を育むふるさと教育の推進

- ・地域について学び、ふるさとの良さを感じさせる郷土愛を育むふるさと学習を推進する。
- ・職業講話、森林や地域資源を教材として活用する。
- ・高齢者などを講師にした強度教育や伝統技能の伝承教育を実施する。
- ・子ども議会、子ども全員協議会、社会福祉体験などを実施する。

1－3 情報通信技術（ICT）教育の推進

- ・ICT機器を活用した多様な教育の確保と効果的な教育活動の研究及び実践を行う。
- ・新学習指導要領に対応したデジタル教科書及びICT機器などの効果的な活用を行う。

1－4 地域とともにある学校運営

- ・地域住民の学校行事への積極的な参加呼びかけを行う。
- ・豊根村地域学校協働本部の活動を推進する。
- ・特別支援教育支援員・指導員等の人材を地域から登用する。

1－5 田口高校魅力化と連携型中高一貫教育の魅力発信

- ・北設中高一貫教育推進委員会との連携強化と情報発信を行う。
- ・田口高等学校の魅力向上に向けた取り組みを行う。

個別施策	令和 6 年度の実施（達成）状況	得られた効果や今後の課題
1-1 「生きる力」、 「確かな学力」 を育む学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生海外派遣研修事業は、カナダからオーストラリアに派遣先を変え 5 年ぶりに語学研修を実施 ・外国語指導助手（ALT）を設置 ・特別支援教育支援員を配置し（小学校 6 名、中学校 1 名）学校生活への適応支援を行った ・保・小・中連携、連携型中高一貫教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外研修はオーストラリアで実施。 ・英語学力の向上を図った。 ・豊かな学校生活を過ごすことができた。今後も配置が必要。 ・同じ子ども観のもとで指導を継続し、教育効果を高めた。 <p>【評価 A】</p>
1-2 郷土愛を育む ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・都市体験学習、ダンス教室、気象学習を実施 ・総合的な学習の時間、プレゼンテーション事業を実施 ・和太鼓学習、習字教室を地域の講師を招聘してを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの素晴らしさを感じ取り、地域の文化を継承しようとする気持ちを高めることができた。 <p>【評価 B】</p>
1-3 情報通信技術（ICT）教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想により、タブレット PC、電子黒板、アクセスポイントなどを活用し、ICT 教育を推進した ・「教育の質」改善、学校事務の効率化・縮減化を目的に「校務支援システム」を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を有効に利用した ICT 教育の実践に努める。 ・校務の情報化により学校経営の改善を図るため校務支援システムの活用を図った。 <p>【評価 B】</p>
1-4 地域とともにある学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・豊根小中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、保護者・地域住民の代表者が学校運営への参画や必要な支援を行った ・地域学校協働本部を設置し、地域と学校が組織的に連携し、多種多様な活動を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も「地域とともにある学校」への取り組みが必要。 ・地域学校協働活動への更なる取り組みが必要。 <p>【評価 B】</p>
1-5 田口高校魅力 化と連携型中 高一貫教育の 魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・英語科・数学科の教員授業交流を実施した ・田口高校と部活動交流会を実施した ・田口高校文化祭に出店した 	<ul style="list-style-type: none"> ・田口高校教育活動検討会での多方面からの議論が必要。 <p>【評価 B】</p>

基本施策

Ⅱ 子育て・現役世代支援

○現状と課題

村では少子化対策として、給食費の無償化、高校卒業年齢までの医療費無償化、保育園から中学校までの通学費無償化など、村独自に国制度を補完する取り組みも実施するなど、子育て世代が子育てしやすい環境づくりを図っています。

本村から通える高校が郡内 1 校だけであり、生徒の進路選択によっては、郡外の高

校へ進学することとなるため、生徒や保護者の負担を軽減し、安心して高校へ通えるよう、通学費や下宿代などの就学助成、大学生も含めた奨学金の給付・貸付なども行っています。このように子育て支援に取り組んでいますが、依然として子どもの数の減少を食い止めるには至っていない状況です。今後も引き続き支援をしていく必要があります。

○施策の方針

地域の将来を担う若者の移住・定住を促進するため、今後も経済的支援を継続します。

次代の担い手となる「とよねっ子」の教育の機会均等を確保するとともに、安心して勉学に励むことのできる支援を行います。

○個別施策

2-1 就学支援対策

- ・安心して勉学に励むことができるよう、高校就学援助、私立高校授業料等助成、豊根村奨学金などの支援を継続する。
- ・高校・大学等への進学に伴う子どもの転出・転居による子や親の不安、悩みを解消するための対策などを検討する。

施策評価シート2

個別施策	令和6年度の実施（達成）状況	得られた効果や今後の課題
2-1 就学支援対策	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金貸与事業に係る消費貸借契約書の非課税対象事業を実施 ・豊根村未来応援奨学金返還支援補助金事業を実施 ・豊根村奨学基金の貸付を継続実施 ・高校等就学助成を継続実施 ・私学就学助成を継続実施 ・特別支援就学奨励を継続実施 ・就学援助の継続実施 ・豊根小中学校給食費無償化事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・学費の貸付、高校への通学費・下宿代等の助成、私立高校の授業料等の助成などの支援を行った。 ・奨学金返還支援補助対象者5名 ・経済的な理由により就学困難な家庭の支援を行った。 ・小中学校給食費の無償化により家庭の支援とともに学校の事務負担の軽減が図られた。 <p style="text-align: right;">【評価A】</p>

基本施策

Ⅲ 生涯学習の充実

○現状と課題

村では、生涯学習推進基本構想・基本計画を策定し、「豊かな心を育む生涯学習のむらづくり」をスローガンに掲げ、生涯学習を推進しており、一人ひとりが生きがいを感じながら生活できるよう「いつでも、どこでも、だれでも」必要な学習を受けられる

環境づくりが求められています。また、スポーツ活動も活発に行われており、スポーツ教室の開催や、小中学校合同運動会実施、さらに総合型地域スポーツクラブの設立など村民のスポーツ活動の推進を図っています。今後も引き続き、村民が生涯を通じてスポーツに取り組めるよう、活動の場や機械を充実させる必要があります。

また、自主的な文化芸術活動も実施されています。それらの活動をより活発化させるためには、発表の場づくりを行うとともに、村民が優れた文化芸術に直接触れ、親しみ、想像できるよう、体験の機会を充実させるなど、文化芸術に関する学習の機会を充実させていく必要があります。また団体間の連携や指導者育成を図るとともに、文化芸術活動への村民参加を促進するため、県及び近隣市町村の生涯学習情報を収集・提供していく必要があります。

○施策の方針

- ・豊根村生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく施策・取組を推進します。
- ・村民が生涯現役で学び、柔軟な発想を持ち続けられるよう、学習機会の創出や学習活動、スポーツ活動の展開を図ります。
- ・社会教育の場を充実させるとともに、情報提供によりスポーツなど施設利用の促進を図ります。
- ・社会教育関係団体の育成を図るとともに、周辺地域の同様の活動との連携・交流も促進し、相互利用などにより選択肢を拡大し、それらの活動成果を村づくりに生かします。
- ・文化芸術に触れ、親しみ、創造する機会を増やします。

○個別施策

3－1 生涯学習の環境整備

- ・各種講座・教室などへの参加促進を図りながら、活動支援を行う。
- ・豊根村生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく施策や取組を推進する。
- ・県及び近隣市町村の生涯学習情報を収集し、IT 社会動向に対応した生涯学習講座の充実を図る。
- ・指導者の育成、確保、活動支援を行う。
- ・文化協会への活動助成を行うとともに、文化協会の育成事業を推進する。

3－2 生涯スポーツ活動の推進

- ・総合型地域スポーツクラブの効果的な運営とスポーツ人口の維持を行う。
- ・各種スポーツ大会、スポーツ推進委員の研修、ニュースポーツ教室、村民運動会を開催する。
- ・とよねドームなど、スポーツ施設の有効利用を促進する。
- ・体育協会育成事業を推進する。

3－3 文化芸術活動の推進

- ・各文化団体の活動を支援する。

- ・文化芸術活動の成果発表の場を提供する。

3－4 文化交流の推進

- ・村民が文化や芸術に触れ、親しむ機会を提供する。

施策評価シート3

個別施策	令和6年度の実施（達成）状況	得られた効果や今後の課題
3－1 生涯学習の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の社会教育施設、体育施設などを有効活用した。英会話教室（前期・後期）を開催 ・日本赤十字看護大学との地域連携講座を開催 ・ドラゴンズ野球教室を郡内で共同実施 ・文化協会の活動支援を実施 ・豊根村生涯学習カレンダーを発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安心安全に講座を受講できる機会を提供し、施設を有効活用し、利用率向上につなげる。 ・生涯学習カレンダーに村の将来目標を掲載し住民周知を図った。【評価B】
3－2 生涯スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県境域住民スポーツ交流会を実施（弓道、ゲートボール、ソフトバレー） ・スポーツ推進委員活動を継続実施 ・体育協会活動、加盟団体支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も周辺地域の活動に積極的に参加する。 ・スポーツ推進員活動、体育協会活動を支援することができた。【評価B】
3－3 文化芸術活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県境域住民文化交流事業に参加 ・豊根村文化協会、文化団体の活動を継続支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者、利用者増加を図っていく必要がある。【評価B】
3－4 文化交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・映画会（ミュータントタートルズ ミュータントパニック）を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに文化や芸術に触れ、親しむ機会を提供する必要がある。【評価B】

基本施策

IV 誇れる文化づくり

○現状と課題

村には、古くから受け継がれてきた民族芸能が残っていますが、人口減少や少子高齢化に伴い担い手の確保ができず、継続が困難になってきているものもあります。しかし、村の文化としてこれらを絶やすことなく伝承していくことが必要です。また、村内の各地区にも古くから受け継がれてきた行事や風習がありますが、これらも同様に伝承していくことが求められます。

国、県及び村指定の文化財、天然記念物については、保全・保護及び公開に努めていますが、個人や氏子の所有物については、散逸しないように所有者の協力のもと、引き続き適切な管理を行っていく必要があります。

○施策の方針

- ・「花祭」に代表される村特有の文化を伝承していくため、歴史文化資源全般にわたる調査や保存記録活動、学習活動、体験、公開活動、イベントなどを実施します。

- ・文化財や美術品の損壊を防止します。
- ・伝承者の確保・育成や子どもへの伝承を通じて、次代の郷土文化を担う人材を育てます。

○個別施策

4－1 花祭・御神楽祭りなどの伝統文化の維持・伝承

- ・伝統芸能などの保存会活動を通じて後継者を育成する。
- ・地域の高齢者による子どもへの郷土教育、伝統技能の伝承を行う。
- ・歴史文化資料の収集と保存管理を図る。

4－2 文化財などの保存管理

- ・文化財、天然記念物などの所有者による適切な管理を促進する。
- ・住民、行政による保存管理体制を強化する。

施策評価シート 4

個別施策	令和6年度の実施（達成）状況	得られた効果や今後の課題
4－1 花祭・御神楽祭りなどの伝統文化の維持・伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・県・村費を活用した無形民俗文化財に対する補助事業を実施 ・各地区花祭、御神楽祭の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、後継者・伝承者の育成が喫緊に必要 <p style="text-align: right;">【評価 B】</p>
4－2 文化財などの保存管理	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷家相続人との継続協議 ・国指定重要文化財「熊谷家」の保存・管理のための助成を実施 ・文化財建造物保存技術協会との継続協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者（所有者）の後継問題 ・老朽化（特に屋根雨漏り）の修繕の問題 ・専門家による内部確認を実施 <p style="text-align: right;">【評価 B】</p>

II 施策の実施状況

I 学校教育の充実

学校教育の充実を図るため、以下の施策を実施しました。

主要な施策	実施状況及び得られた効果等																																											
魅力あるあいちキャリアプロジェクト	<p>○ 豊根中学校</p> <ul style="list-style-type: none">・職場体験：生徒が経験したことのない「ものづくり」の体験ができ、職人レベルの高い技術に触れることができた。・職業講話：地元の木を使って食器や家具を作る仕事のやりがいや酒を造って酒というモノを売るから酒造りを体験するコトを売るといふこれからの仕事の仕方・考え方を創り出す良い機会となった。 <p>①ガイダンス事業（全学年） 6月、10月</p> <ul style="list-style-type: none">・講演会：地元の木を使う仕事のやりがいについて（木と革 aoyama）・講演会：これからの仕事の方法や考え方について（関谷醸造 関谷健） <p>②事後指導 6月</p> <p>職場体験ガイダンス</p> <p>③職場体験（ガラス細工と江戸切子体験） 6月</p> <p>④事後指導 10月</p> <p>体験活動のまとめ</p> <p>⑤プレゼンテーション事業（全学年） 12月</p> <p>生徒が他学年の生徒に向けて成果を発表</p> <p style="text-align: right;">愛知県交付金事業 35,000 円</p>																																											
へき地教育振興費補助事業	<p>○ 県費補助事業で下記の事業を実施し、都市体験の実践、地域や芸術鑑賞等により、心豊かな児童生徒の育成を目指した</p> <p>総事業費 367,000 円のうち、県費補助金 185,750 円</p> <p>(1)「ふるさと出会いと創造」推進事業</p> <p>○ 体験の場</p> <p>都市体験施設 事業費 50,000 円</p> <table><tr><th>学校名</th><th>学 年</th><th>人 数</th><th>実 施 期 日</th><th>目的地</th></tr><tr><td>豊根小学校</td><td>1～4 年生</td><td>27</td><td>令和 6 年 10 月 2 日、10 日</td><td>豊橋市</td></tr><tr><td>豊根中学校</td><td>2 年生</td><td>2</td><td>令和 6 年 6 月 5～7 日</td><td>東京都</td></tr></table> <p>和太鼓活動</p> <table><tr><th>活動内容</th><th>学 年</th><th>人 数</th><th>実 施 期 日</th></tr><tr><td>豊根小学校和太鼓活動</td><td>3～6 年生</td><td>19</td><td>令和 6 年 2 月～3 月</td></tr></table> <p>○ 交流の場</p> <table><tr><th>活動内容</th><th>学年</th><th>人数</th><th>実施期日</th></tr><tr><td>豊根中学校ダンス教室</td><td>1～3 年</td><td>17</td><td>令和 7 年 2 月</td></tr></table> <p>○ 学びの場</p> <table><tr><th>活動内容</th><th>学年</th><th>人数</th><th>実施期日</th></tr><tr><td>豊小 習字教室</td><td>3～6 年</td><td>19</td><td>令和 6 年 1 月 18, 24 日</td></tr><tr><td>豊中 総合的な学習の時間（プロジェクトの推進）</td><td>1～3 年</td><td>18</td><td>令和 6 年 6 月～12 月</td></tr></table>	学校名	学 年	人 数	実 施 期 日	目的地	豊根小学校	1～4 年生	27	令和 6 年 10 月 2 日、10 日	豊橋市	豊根中学校	2 年生	2	令和 6 年 6 月 5～7 日	東京都	活動内容	学 年	人 数	実 施 期 日	豊根小学校和太鼓活動	3～6 年生	19	令和 6 年 2 月～3 月	活動内容	学年	人数	実施期日	豊根中学校ダンス教室	1～3 年	17	令和 7 年 2 月	活動内容	学年	人数	実施期日	豊小 習字教室	3～6 年	19	令和 6 年 1 月 18, 24 日	豊中 総合的な学習の時間（プロジェクトの推進）	1～3 年	18	令和 6 年 6 月～12 月
学校名	学 年	人 数	実 施 期 日	目的地																																								
豊根小学校	1～4 年生	27	令和 6 年 10 月 2 日、10 日	豊橋市																																								
豊根中学校	2 年生	2	令和 6 年 6 月 5～7 日	東京都																																								
活動内容	学 年	人 数	実 施 期 日																																									
豊根小学校和太鼓活動	3～6 年生	19	令和 6 年 2 月～3 月																																									
活動内容	学年	人数	実施期日																																									
豊根中学校ダンス教室	1～3 年	17	令和 7 年 2 月																																									
活動内容	学年	人数	実施期日																																									
豊小 習字教室	3～6 年	19	令和 6 年 1 月 18, 24 日																																									
豊中 総合的な学習の時間（プロジェクトの推進）	1～3 年	18	令和 6 年 6 月～12 月																																									

現職教育研修事業	<p>○ 豊根村内の学校ごとに教員個々の資質の向上と学校教育目標に向けての共同研修、研究を実施した 事業費 164,000 円</p> <p>【豊根小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仲間とともに問題を解決していく子どもの育成」 ～対話を通して学びを深める算数科の授業づくり～を研究主題として、特に算数科において子どもが主体的・対話的に問題解決に取り組むための手立てについて研究を進めた。 ・教員の力量向上を目指す研修を推進した。 校外研修や先進校視察に積極的に参加し、指導方法を学び指導技術向上を図った。 ・複式指導（算数）の研修に努め授業力を高めた。 ・GIGA スクール構想で配置された ICT 機器を活用し、ロイロノート、電子黒板を活用しながら効率的な指導方法を模索した。 ・豊根のひと・こと・ものを活かした教育活動を進めた。 地域の諸団体の協力を得て、地域に目を向け、豊根村の良さを感じられる学習活動を展開した。 <p>【豊根中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己を磨き、郷土を愛し、国家社会に貢献する国際性豊かな社会の形成者としての基礎的資質・能力を育成する。」「総合的な学習の時間」について、豊根村に関する「人」「もの」「こと」から課題を見出し、生徒が主体的で探究的な学びができる教育活動を推進することでふるさとの発展に貢献できる資質・能力及び態度を育成した。 教師一人ひとりが課題意識を持ち、自分の担当する教科の研鑽を積み、授業力を高めた。 ・小中連携教育、中高一貫教育について連携を大切にし、共同で推進した。 ・教員の力量向上を目指した研修を推進した。 外部講師を招聘した授業研究を実施し、指導力を高めることができた。 教師としての力量を高めるため、積極的に研修会に参加した。
豊根村小中学校連携教育	<p>○ 小中学校が共通理解しながら、児童生徒を継続して指導し、9 年間の見通しを持った教育活動を展開することにより教育効果を高める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小中連携会議 随時（校長・教頭） その他情報交換等 随時（養護教諭、生徒指導等） ② 学校管理部会 学校教育の方針、予算、施設、設備面等での連携 ③ 9 年間を見通した学校教育 基礎基本・教科教育の充実、授業研究会、ふるさと学習 児童生徒の情報交換、関係諸機関との連携 ④ 9 年間を見通した ICT 教育 情報モラル教室、活用方法の研修会 ⑤ 9 年間を見通した健康教育、食育 とよね健康マイレージ、心の相談（スクールカウンセラー）

外国語指導助手の設置	<p>○ 外国語指導助手を設置し、小中学校の外国語授業の補助を行い、教育向上と国際理解を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期：フェミ・フランシス・アデウミ（国籍：ナイジェリア） ・後期：マイケル・オセイ・サルフォ（国籍：ガーナ） <p>契約期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 4,952,200 円</p>
こども乗車券の交付	<p>○ 子どもの福祉の増進及び豊根村村営バスの利用促進を図るため豊根村こども乗車券を小中学生に交付した</p> <p>小学生 36 名 助成金額 1,231,200 円 中学生 17 名 助成金額 1,162,800 円 助成金額合計 2,394,000 円</p>
特別支援教育支援員の配置	<p>○ 障害等を有し、学校生活へ適応が困難な児童生徒が、豊かな学校生活を過ごせることを目的に、必要に応じて教育委員会の所管に属する小中学校に特別支援教育支援員を配置した</p> <p>豊根小 6 名、中学校 1 名 配置 事業費 4,048,000 円</p>
特別支援就学奨励	<p>○ 特別支援学級に入級している児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図った</p> <p>豊根小学校 1 名 72,453 円 豊根中学校 1 名 94,460 円 合計 2 名 166,913 円 （内、国庫補助 41,000 円）</p>
就学援助	<p>○ 義務教育の円滑な実施に資するため、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行った</p> <p>豊根小学校 1 名 33,110 円 豊根中学校 0 名 0 円 合計 1 名 31,110 円</p>
学校行事の充実	<p>○ 国内研修（中学2年生） 令和6年6月5日～7日</p> <p>○ 小学校スキー教室 令和7年1月24日・30日 132,000 円</p> <p>○ 中学校スキー教室 令和7年1月7日（全）・17日（1・2年）77,000 円</p> <p>全校スキー活動 令和7年1月31日（治部坂高原スキー場）</p> <p>○ スキー検定3級受験 令和7年2月9日（茶臼山高原スキー場）</p>
豊根村中学校海外研修事業	<p>○ 豊根中学3年生を海外に派遣し、諸外国の自然や歴史、文化に触れることにより、見識を深め、国際化時代に対応しうる人材の育成を図ることを目的に、令和6年度より派遣先をオーストラリアに変更し実施した</p> <p>・実施日 令和6年5月23日～29日</p>

	・海外研修派遣事業補助 6,425,029 円
学校保健	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童、生徒の健康診断を実施した。(令和 6 年 4 月 9 日) 107,327 円 ○ 教職員の健康診断を住民健診に併せて実施した 417,450 円 (令和 6 年 6 月 20 日、21、24、25 日) 4 日間 ○ 心の健康チェック事業ストレスチェックを実施した (10 月) 21,780 円
豊根村小中学校 ICT 教育機器の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット、電子黒板等をリースし、ICT 教育を推進した <ul style="list-style-type: none"> ・豊根小学校 電子黒板 1 台 ・豊根中学校 タブレット 27 台 (生徒一人 1 台貸与) ○ Wi-Fi 環境のない家庭でも学習ができるよう環境を整備した <ul style="list-style-type: none"> ・フリーWi-Fi 機器使用料 (2 台) 87,120 円 ・SARTRAS 補償金 (児童生徒 53 人分) 3,943 円 ・中学校デジタル教科書 308,275 円
豊根小中学校校務支援システム導入による公務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校務支援システム「ツムギノ」による校務 DX を推進した <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム利用料 1,941,720 円 ・ICT サポート委託料 (年次更新支援作業) 951,500 円
教職員用パソコン貸与	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校情報の効率的運用と職員個人情報保護及び機密保全のため、職員用パソコンを貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・貸与台数 豊根小・生徒の中学校 35 台 リース料 2,479,620 円
学校安全・防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学生全員を、(独) 日本スポーツ振興センター傷害保険に加入して、学校活動中の事故に備えるとともに、給付金を受給した <ul style="list-style-type: none"> ・加入者数 53 名 掛金総額 49,555 円 (@935 円×53 名) ・受給者数 3 名
学校運営協議会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊根中学校及び豊根小学校に学校運営協議会を設置し、保護者・地域住民等で組織し、学校運営への参画や必要な支援を行った <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会会議 6 月 14 日、10 月 9 日、3 月 13 日 (事業費 198,000 円)
豊根中学校創立 50 周年記念誌の発刊	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和 49 年に開校された豊根中学校が、令和 5 年度で創立 50 周年を迎え、この 50 年間で 898 名の卒業生を送り出した。50 年という歴史を振り返り、そして次の 50 年に向けて更なる発展を遂げていくことを祈念し、創立 50 周年記念誌を発刊した。 (事業費 1,283,700 円)
営繕関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊根小学校 消防用ホース取替 110,000 円

	<p>電動式不凍栓修繕 172,700 円</p> <p>○ 豊根中学校 理科用備品購入 485,650 円（内国庫補助金 144,000 円）</p>
学校給食共同調理場の運営及び給食調理員研修	<p>○ 学校給食無償化事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賄材料費 児童 36 名、生徒 17 名、教職員等 6,213,202 円 ・ 教職員等給食費（歳入） 1,908,660 円 <p>○ 村立小中学校栄養職員及び給食調理員研修会に参加した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食従事者等研修会 令和 6 年 7 月 26 日 津具支所 <p>○ 学校給食共同調理場の運営について運営会議を開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年 1 月 29 日 豊根中学校会議室 <p>○ 愛知を食べる学校給食の日 6 月 21 日、10 月 24 日、1 月 24 日 計 3 回 （賄材料費 5,560,290 円、地域食材費 652,912 円）</p>
検査手数料	<p>○ 検便、ノロウイルス検査手数料 環境未来(株) 433,950 円</p> <p>浄化槽法廷検査手数料 環境未来(株) 6,000 円</p>
業務委託	<p>○ 業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理機器簡易点検 (株)アイホー豊川営業所 88,000 円 ・ 殺防鼠・防虫業務 (株)オオヨドコーポレーション 181,500 円 ・ 雑排水層清掃 (株)中部技術サービス 304,700 円 ・ 冷凍機器等保守点検 (株)ホシザキ東海 381,700 円 ・ 空調等整備保守点検 (株)中部技術サービス 457,600 円 ・ 浄化槽点検 (株)東海環境衛生社 112,948 円 ・ 電気工作物保安全管理 中部電気保安協会 212,520 円

II 子育て・現役世代支援

次代の担い手となる子どもたちの教育の機会均等を確保するとともに安心して勉学に励むことができるよう就学支援を実施しました。

主要な施策	実施（達成）状況
豊根村奨学基金の貸付	<p>○ 経済的な理由等で就学困難な者に、学費の貸付を行い、教育の機会的均等と、多くの有能な人材の育成を図った</p> <p>令和 6 年度貸付 8 名 5,560,000 円</p> <p>令和 6 年度償還 23 件 3,337,000 円</p> <p>令和 6 年度新規奨学生 4 名</p> <p>未償還奨学金残高 33,883,000 円（令和 6 年度末）</p>

豊根村未来応援奨学金 返還支援補助金	○ 地域に定着する人材を確保するため、貸与を受けた奨学金の返還に対する支援を行った。(年度内に返還した額の 1/2 を補助) 対象者 5 名 341,000 円
高校等就学助成	○ 高校等に通学又は下宿若しくは学校寮及びアパート等を利用している生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、高校等就学費を助成した 助成対象者 17 名 (自宅通学 5 名・下宿等 12 名) 助成額 3,683,370 円 ※奨学金貸付との併用不可
私学就学助成援助	○ 私立高校に在籍する生徒の保護者に授業料等の助成を行うことにより、私立学校間における保護者負担の格差を少しでも是正することを目的に教育の機会均等を図った 助成件数 6 件 助成金額 72,000 円

Ⅲ 生涯学習（社会教育）の充実

村民一人ひとりが生きがいを感じながら生活していただけるよう「いつでも、どこでも、誰でも」必要な学習が受けられる体制づくりを目標に以下の施策を実施しました。

主要な施策	実施（達成）状況
成人式 ～二十歳を祝う会～	○ 令和 7 年 1 月 2 日（木） 式典 村民ホール、昼食 津具みのや旅館 成人者：男性 10 人・女性 4 人 合計 14 名（出席者 12 名） 記念品：カタログギフト （対象者 平成 16 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日） 事業費：記念品、しおり、写真代、昼食代、生花 116,720 円
県境域住民交流事業	○ 第 50 回県境域住民スポーツ交流会 令和 6 年 7 月 21 日 阿南町 第 40 回県境域住民文化交流会 令和 6 年 11 月 10 日 天龍村 令和 6 年度総会 5 月 17 日 売木村 住民交流実行委員会 6 月 14 日、9 月 25 日、11 月 1 日、2 月 17 日
文化財関係事業	○ 文化財審議会 委員：熊谷 哲、村松茂芳、清川智徳、榊原 清、川井富孝 事業費 50,000 円 ○ 文化財保存管理 国指定重要文化財「熊谷家」保存、管理のための助成 ・建造物保存修理調査工事 10,792,985 円（内、村補助 1,187,000 円） ・文化財維持管理費事業交付金 502,275 円（内、村補助 334,000 円）

文化協会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会活動への助成 128,600 円 ○ 文化協会育成事業補助金 45,000 円 花ノ木陶芸クラブ ○ 構成団体 花ノ木陶芸クラブ、日本習字豊根教室、源流怒涛太鼓、豊根ウインドオーケストラ、淡夜桜 5 団体
社会教育委員活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊根村社会教育委員 7 人 事業費 36,000 円 委員：村井壽一、金田尚樹、山口美知英、依田佳和、青山重夫、杉野文隆、原田基寛 ・村社会教育委員会 2 回 4 月 25 日、10 月 3 日 ・県・東三社会教育委員連絡協議会（理事会、総会・研修会） ・東海北陸社会教育委員協議会富山大会 令和 6 年 10 月 10、11 日 ・人権教育指導者研修会参加 令和 6 年 7 月 25 日 オンライン
家庭教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新城設楽地区家庭教育推進運営協議会 第 1 回 令和 6 年 5 月 30 日 新城設楽総合庁舎 第 2 回 令和 7 年 2 月 18 日 新城設楽総合庁舎 ○ 地域で子どもを育むための交流会 11 月 7 日 ○ 愛知県青少年育成県民会議総会 ○ 子ども・若者支援ネットワーク連絡会議、講演会 ○ 子ども・若者支援担当者研修会
教室・講習会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英会話教室 前期 講師：フェミ・フランシス・アデウミ 5 月 24 日、31 日、6 月 7 日、14 日、21 日、28 日 後期 講師：マイケル・オセイ・サルフォ 11 月 20 日、27 日、12 月 4 日、11 日、18 日、25 日
生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊根村生涯学習カレンダーの作成 作成費 541,860 円 教育委員会・保育園及び小中学校・その他などに分類した村や村民に係る各種情報（行事や通知情報など）を掲載し、全世帯・関係諸団体へ配布した ○ 豊根中学校音楽室の開放及び社会教育施設の開放 利用団体なし ○ 地域連携講座の開催 日本赤十字豊田看護大学との連携講座 3 月 10 日 参加者 12 名
ふれあい会館 図書コーナーの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあい会館 愛知県図書館貸出文庫設置 貸出文庫 令和 6 年度貸出冊数 341 冊 流通図書：貸出期間 3 カ月 3 カ月毎に入れ替え（80 冊） 譲渡図書：無し 新刊図書購入：60 冊 購入費用 108,204 円 オンラインシステムによる県図書館蔵書の検索・貸出サービス

	<div>○ 森遊館</div> <div>貸出文庫 令和 6 年度貸出冊数 159 冊</div> <div>流通図書：貸出期間 3 カ月 3 カ月毎に入れ替え（80 冊）</div> <div>譲渡図書：2 冊</div> <div>新刊図書購入：無し</div> <div>オンラインシステムによる県図書館蔵書の検索・貸出サービス</div>																		
文化広場	<div>○利用実績</div> <table><tr><th>施 設 名</th><th>利用日数</th><th>利用者数（概数）</th></tr><tr><td>ふ れ あ い 会 館</td><td>21 日</td><td>267 人</td></tr><tr><td>村 民 ホ ー ル</td><td>12 日</td><td>155 人</td></tr></table> <div>○自主映画会 ミュータントタートルズ ミュータントパニック</div> <div>令和 6 年 8 月 2 日 参加者数（概数）34 人</div> <div>上映代 198,000 円</div>	施 設 名	利用日数	利用者数（概数）	ふ れ あ い 会 館	21 日	267 人	村 民 ホ ー ル	12 日	155 人									
施 設 名	利用日数	利用者数（概数）																	
ふ れ あ い 会 館	21 日	267 人																	
村 民 ホ ー ル	12 日	155 人																	
森遊館	<div>○ 開館日、利用者数等</div> <table><tr><td>開館日</td><td>201 日</td></tr><tr><td>プール</td><td>13 人</td></tr><tr><td>トレーニングルーム</td><td>2 人</td></tr><tr><td>体育館</td><td>11 人</td></tr><tr><td>休憩室</td><td>13 人</td></tr><tr><td>実技・研修室</td><td>0 人</td></tr><tr><td>図書室</td><td>37 人</td></tr><tr><td>ギャラリー</td><td>3 人</td></tr><tr><td>施設見学</td><td>100 人</td></tr></table>	開館日	201 日	プール	13 人	トレーニングルーム	2 人	体育館	11 人	休憩室	13 人	実技・研修室	0 人	図書室	37 人	ギャラリー	3 人	施設見学	100 人
開館日	201 日																		
プール	13 人																		
トレーニングルーム	2 人																		
体育館	11 人																		
休憩室	13 人																		
実技・研修室	0 人																		
図書室	37 人																		
ギャラリー	3 人																		
施設見学	100 人																		
村民プール	<div>○ 村民プール開放</div> <div>小学校夏休みのプール開放日数 23 日間（5 日間は悪天候により中止）</div> <div>利用人数：延べ 250 人（日平均 11.0 人）</div> <div>監視員：保護者、小中学校教諭、調理員、教委職員</div>																		
社会教育施設志高寮の有効利用	<div>○ 社会教育施設志高寮をとよね地域未来塾、サークル活動、会議等に有効利用し、社会教育の充実を図った。</div> <div>・地域未来塾 120 日、キャリア教育、その他活動 3 日 参加延べ人数 123 人 計 123 日/201 日 利用率 61.2%</div> <div>・地域学校協働活動推進員 1 名（村井壽一）、38,580 円</div> <div>地域学校協働活動支援員 2 名（熊谷 寛、金田善美）479,810 円</div> <div>学習塾講師 2 名の配置（小早川武史、四天王寺大学）841,258 円</div> <div>報償費等事業費 1,401,753 円（内、国庫支出金 917,000 円）</div>																		
地域学校協働活動	<div>○より幅の広い地域住民、団体等が参画し、学校支援活動、家庭教育支援活</div>																		

	<p>動、学びによる村づくり、地域活動等を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サークル活動 ランナーズクラブ、剣道クラブ、卓球クラブ、スキークラブ 参加延べ人数 746 人 ・学校応援ボランティアの設置 登録者 個人 16 名、団体 1 ・ふるさとを知る学習（くらしの Study）8 月 24 日、12 月 20 日 39 名 <p>○ 地域未来塾、オンライン寺子屋 ①四天王寺大学 4 名、②村出身大学生 2 実施日数 200 日、参加延べ人数 657 名</p>																
スポーツ推進委員	<p>○ スポーツ推進委員 6 人 委員：田辺貴久、熊瀧 優、伊藤孝宏、熊谷和宜、清川弘直、村松彩香</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会（2 回開催） ・郡スポーツ推進委員連絡協議会総会（総会・研修会への参加） ・東三河・県スポーツ推進委員連絡協議会（理事・幹事会への参加） ・東三河スポーツ推進委員実技研修会 ・東海四県スポーツ推進委員研究大会 四日市市 1 月 31 日、2 月 1 日 ・全国スポーツ推進員研究協議会宮崎大会 11 月 14、15 日 <p>○ スポーツ教室指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ大会 6 月 29 日 																
体育協会活動	<p>○ 体育協会事業 事業費 1,026,267 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 運営委員会 5 月 20 日 ・自主事業 グランドゴルフ大会 6 月 29 日 ・スポーツ大会 県境域住民スポーツ交流会（ソフトバレー、弓道、ゲートボール） 第 17 回愛知県市町村対抗駅伝大会（愛・地球博記念公園）465,660 円 ・後援事業 第 16 回とよね・みどり湖ハーフマラソン 11 月 3 日 ・構成団体 <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th><th>会員数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊根村弓友会</td><td>15 人</td></tr> <tr> <td>豊根村ゴルフ愛好会</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>豊根村バレーボール連盟</td><td>29 人</td></tr> <tr> <td>豊根村ゲートボール協会</td><td>16 人</td></tr> <tr> <td>とよね卓球クラブ</td><td>9 人</td></tr> <tr> <td>ランナーズクラブ</td><td>56 人</td></tr> <tr> <td>計 6 団体</td><td>146 人</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会育成事業 1 団体 バレーボール連盟 35,000 円 	団体名	会員数	豊根村弓友会	15 人	豊根村ゴルフ愛好会	21 人	豊根村バレーボール連盟	29 人	豊根村ゲートボール協会	16 人	とよね卓球クラブ	9 人	ランナーズクラブ	56 人	計 6 団体	146 人
団体名	会員数																
豊根村弓友会	15 人																
豊根村ゴルフ愛好会	21 人																
豊根村バレーボール連盟	29 人																
豊根村ゲートボール協会	16 人																
とよね卓球クラブ	9 人																
ランナーズクラブ	56 人																
計 6 団体	146 人																

施設修繕	○ 施設修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・志高寮誘導灯修繕 66,330 円 ・とよねドーム浄化槽修繕 775,060 円 ・村民プール給湯器不良部品取替え修繕 16,390 円 ・森遊館ブラインド修繕 223,750 円 ・森遊館トイレ水洗修繕（3 ヵ所） 161,627 円 ・森遊館屋上防水修繕工事 1,111,000 円
備品管理	○ AED管理 パッドパック更新 <ul style="list-style-type: none"> ・村民体育館 45,100 円 ・志高寮 45,100 円

IV 誇れる文化づくり

村特有の文化を伝承していくため、歴史文化や資源全般にわたる調査や保存記録活動、学習活動、体験・公開活動、イベントなどを組織的に実施します。また伝承者の確保・育成や子どもへの伝承を通じて、明日の郷土文化を担う人材を育てます。

主要な施策	実施（達成）状況
文化財関係事業	○文化財審議会 文化財審議会委員 5 人 清川智徳、熊谷 哲、村松茂芳、榊原 清、川井富孝 ○文化財保護管理 国指定重要文化財「熊谷家」保存（管理費）のための助成 <ul style="list-style-type: none"> ・教育文化振興事業補助（調査工事） 事業費 10,792,985 円（内、村補助金 1,187,000 円） ・文化財維持管理事業交付金 事業費 502,275 円（内、村補助金 334,000 円）

V 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動としては、定例会や臨時会の会議開催のほか、教育行政に関する情報収集や意見交換のため、また文化芸術に関しての見識を高めるため、研修に参加するとともに、各種学校行事や会議等に出席しました。

さらに、首長が招集する「総合教育会議」において意見を述べました。教育長・教育委員の選任状況は下記のとおりで、平成 20 年 4 月から保護者である者を含むことが義務付けられています。

教育長・教育委員名簿

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	性別	任 期	備 考
教育長	山本明弘	男	令和 5 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日	3 期目 (H29.10～)
教育長職務代理者	石原詳宣	男	令和 4 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日	2 期目 (H30.10～)
委 員	清川実歩	女	令和 3 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日	3 期目 (H29.10～)
委 員	荒川信吉	男	令和 5 年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日	1 期目 (R5.10～)
委 員	坂本 文	女	令和 6 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日	保護者である者 1 期目

(1) 活動状況

- ① 定例会 12 回 (令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月)
- ② 臨時会 なし
- ③ 総合教育会議 1 回 (令和 7 年 3 月 17 日)
 - ・ 村長マニフェストの教育委員会の取組状況について
遠隔学習推進、奨学金、都市部の豊根出身の高校生への対応等
 - ・ 報告事項
1 人 1 台端末の更新について
児童生徒数の推移について
日本の公立小中学校が直面している主な教育的課題について
- ④ 研修会等への参加
教育水準の向上と教育行政の円滑な運営に資するため、また、教育諸問題の情報収集・研究等のため各種研修会へ参加しました。
 - ・ 愛知県町村教育委員会連合会総会及び研修会/刈谷市 7 月 3 日
 - ・ 三遠南信教育サミット/蒲郡市 7 月 12 日
 - ・ 東三河教育委員会教育委員研修会/蒲郡市 1 月 24 日
 - ・ 北設楽郡教育委員研修会/豊根村 2 月 25 日
- ⑤ 学校訪問
教育委員と教育長が年 1 回小・中学校を訪問し、学校経営や学校現場の課題を把握し、指導するとともに、授業等の視察を通して教職員及び児童生徒の様子を把握しました。
豊根小学校 6 月 6 日、豊根中学校 6 月 24 日
- ⑥ 各種式典・行事等への出席
各学校の入学式・卒業式の儀礼的行事、学芸会、学術的行事、郡小学校体育交流会
郡中学校体育大会、郡駅伝大会や運動会等の体育的行事へ出席しました。

(2) 活動に対する課題等

- ① 会議の運営等
毎月開催が原則ですが、必要に応じて開催できる体制ですので、教育現場の課題や学校の管理・運営等について、常に情報収集に努めるとともに会議の開催については臨機応変に対応しました。今後も直面する教育的課題への対応、小規模校の学校運営、学校の在り方、小中連携、中高一貫教育の充実など豊根村独自の課題に対する調査・研究を行い、課題解決に向けた方策等の検討を進めます。
- ② 研修会等への参加
外部研修には積極的に参加していますが、過疎地域の抱える課題等についての研修機会が少ないです。委員の資質向上はもちろんのこと、学校及び社会教育の課題解決に向

けた研修等の情報収集に努め、それらの研修に積極的に参加していく必要があります。

③ 学校との関わり

年1回の学校訪問を通して、学校経営や学校現場の課題を把握していますが、児童生徒の減少を踏まえた学校運営と地域との関わりの重要性を再確認し、常に保護者等の声を聴ける体制づくりを進めます。その上で、学校との連携を密にしてより良好な教育環境の整備に努めます。また、学校を通して児童生徒及び保護者にスマートフォンなどの情報通信機器の利用について注意喚起を促し、節度ある利用と犯罪の未然防止のため働きかけていきます。さらに、保護者を含めた地域住民への教育に関する情報も積極的に発信する必要があります。

④ 学校運営協議会の取り組み

北設楽郡でもいち早く、豊根中学校と豊根小学校に学校運営協議会を設置しました。保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加することで、育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組み「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいきます。

⑤ 社会教育施設「志高寮」の有効利用

令和2年4月より「寄宿舎機能を無くし、新たな社会教育施設として有効利用していく。」という教育委員会の方針に基づき、新たな社会教育施設志高寮として有効利用を図りました。「地域とともにある学校づくり」を目指し、「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭や地域の人々とともに子どもを育てていくという視点に立ち、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民とともに、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を進めながら、学校内外を通じた子どもの生活の充実と活性化を図ることが大切です。

令和6年度も、「とよね地域未来塾」、「講師による研修会」「キャリア教育」の場として志高寮を有効利用してきました。また、子どもと地域の方が指導者となり、住民が一緒になって弓友会、ランナーズクラブ、弓道クラブ、卓球クラブ、スキークラブを行うなど、ふるさとを誇りに思う気持ちを育む活動を行ってきました。今後も更に地域の子どもたちが多くの大人と関われる多様な活動を展開していきたいと思います。

⑥ 統合型校務支援システムについて

愛知県内で、校務支援システムが導入されていないのは北設楽郡の3町村だけでした。校務情報化の目的として従来からあげられている教職員の校務の軽減化・効率化に加えて、この効果の付加価値ともいえる「児童生徒に対する教育の質の向上」や「学校経営の改善と効率化」などの教育活動の質の改善が重要な目的となります。更に、情報セキュリティの確保や情報共有・情報発信による保護者や地域との連携も重要な目的となることからシステム導入しました。校務支援ツールとコミュニケーションツールをさらに有効活用していきます。

⑦ 区域外就学を活用したデュアルスクールの取り組み

デュアルスクールや短期留学は、地方と都市二つの学校を行き来し、双方で教育を受けることができる「地方と都市を結ぶ新しい学校のかたち」です。教育による地方創生、交流人口や関係人口の増加による地域の活性化や移住の促進も視野に入れた取り組みです。この取り組みを推進するにあたり、令和5年度に愛知県教育委員会義務教育課、名古屋市教育委員会に出向き事業の説明を行い、名古屋市立牧野小学校2年男子を9日間受け入れました。令和6年度には、飛島学園4年生の男子を1日だけ体験入学を行い、それまでの不登校傾向の改善に至りました。しかし数日間だけの体験休学では本村の環境の良さを充分に感じていただく事は無理があることや、区域外就学として扱うには、

対象となる児童の学籍移動に加え、指導要録の移動も必要になり事務が煩雑になるなど多くの課題もあります。住宅整備といったハード面はもちろん、本村が居住先の選択肢になれるよう自治体を認知してもらうこと、住んでみたい村と思ってもらえるよう自治体としてプロモーションや魅力ある村づくりに力を入れる必要があります。

⑧ 行事、会議等

月 日	曜日	会 議 ・ 事 業 名	備考
4 月 1 日	月	村辞令交付式	役場第 3 会議室
〃	〃	定例課長会議	村長室
〃	〃	教職受入式（辞令・発令通知書伝達式）	基幹集落センター
4 月 5 日	金	豊根小中学校入学式、始業式	豊根小中学校
〃	〃	第 1 回東三河教育委員代表者会議	豊橋市役所
4 月 6 日	土	三遠ネオフェニックス奥三河デー	豊橋市体育館
4 月 11 日	木	愛知県町村教育長協議会監査会・役員会	三の丸庁舎
4 月 12 日	金	4 月 定例教育委員会	ふれあい会館和室
4 月 15 日	月	三河部都市・町村教育長協議会	豊橋市役所
4 月 22 日	月	北設楽地方教育事務協議会①、歓送迎会	グリーンポート宮嶋
4 月 24 日	水	北設楽郡小中高等学校生徒指導連絡協議会	田口高校
4 月 25 日	木	北設楽郡教員会総会、郡へき地教育研究協議会総会	役場第 3 会議室
〃	〃	豊根村奨学金返還支援補助金説明会	
5 月 2 日	木	5 月 定例校長会	ふれあい会館和室
5 月 8 日	水	三河小中学校長会総会	岡崎竜丘会館ホール
5 月 9 日	木	愛知県町村教育長協議会総会	三の丸庁舎
5 月 12 日	日	北設教友会総会、懇親会	津具基幹集落センター
5 月 14 日	火	全国町村教育長協議会定期総会	銀座ブロッサム
5 月 15 日	水	全国町村教育長協議会研修会	銀座ブロッサム
5 月 16 日	木	第 1 回東三河教科用図書採択地区協議会	ライフポート豊橋
5 月 17 日	金	愛知県へき地教育研究協議会総会、講演会	津具小学校
5 月 20 日	月	豊根村体育協会運営委員会	ふれあい会館和室
5 月 23 日	木	郡小学校体育交流会	田口小学校
〃	〃	第 1 回東三河教育長会議	新城設楽総合庁舎
5 月 27 日	月	北設楽地方教育事務協議会②	豊根村役場
5 月 30 日	木	三遠ネオフェニックスサックスパーティ	ホテルアソシア豊橋
5 月 31 日	金	教育委員会定例会	ふれあい会館和室
6 月 1 日	土	教育長杯弓道大会	豊根村弓道場
6 月 6 日	木	豊根小学校学校訪問	豊根小学校
6 月 6 日	木	6 月定例教育委員会	ふれあい会館
6 月 7 日	金	第 2 回議会定例会	豊根村議場

〃	〃	北設楽郡学校保健会打ち合わせ	ふれあい会館
〃	〃	学校運営協議会、地域学校協働本部会議	豊根中学校
6月18日	火	北設楽郡学校保健会総会	豊根保健センター
6月19日	水	テクマトリックス「ツムギノ」打ち合わせ	オンライン
6月24日	月	豊中学校訪問	豊根中学校
6月29日	土	豊根村グランドゴルフ大会	新井グランド
7月3日	水	愛知縣市町村教育委員会連合会定期総会・研修会①	刈谷市総合文化センター
7月5日	金	地域コーディネーター等研修会	オンライン
〃	〃	豊根中学校海外研修報告会	役場第3会議室
7月6日	土	北設楽郡中学校体育大会	各会場
〃	〃	北設楽地方教育事務協議会③	設楽町役場議場
7月9日	火	第2回三河部都市・町村教育長協議会	新城市役所
7月10日	水	第2回東三河教科用図書採択地区協議会	東三河県庁
7月12日	金	定例教育委員会議	ふれあい会館
〃	〃	三遠南信教育サミット②	蒲郡クラシックホテル
7月21日	日	県境域スポーツ交流会	阿南町各会場
7月22日	月	東三河小中高特連携教育推進協議会	東三河県庁
7月26日	金	第2回東三河教育委員会教育長会議、視察、懇談会	設楽ダム、豊根村
7月30日	火	愛知縣市町村教育長協議会三河部研修会	三河教育会館
8月17日	土	子どもの健やかな成長を願う会	津具グリーンセンター
8月19日	月	私学助成金拡充に関する陳情	村長応接室
8月21日	水	愛知県総合要望	愛知県庁
8月23日	金	飛島村プール派遣	飛島すこやかセンター
8月27日	火	Birth47（田口高校魅力化）検討会	設楽町役場
9月4日	水	スタディサプリ発展研修	オンライン
〃	〃	四天王寺大学原田三朗ゼミ 豊根村研修 ～9/13	小中学校、大入の郷ほか
9月14日	土	保小中合同運動会	小中学校運動場
9月18日	水	臨時 三河部都市・町村教育長協議会	蒲郡市民会館
〃	〃	定例教育委員会	ふれあい会館和室
9月26日	木	田口高校体育大会	田口高校
10月2日	木	地域学校協働本部コンサルタント打合せ	オンライン
〃	〃	北設楽地方教育事務協議会	豊根村基幹集落センター
10月3日	木	北設楽郡中学校駅伝大会	名倉地内
10月9日	水	学校運営協議会②、地域学校協働本部会議	豊根中学校
10月18日	金	三遠ネオフェニックスバスケット交流会	豊根小学校
10月19日	土	豊根村表彰式、村制135周年記念とよねまつり	とよねドーム
10月23日	水	へき地・複式教育研究協議会	豊根小学校

11月1日	金	愛知県へき地教育研究大会	津具小学校
11月2日	土	田口高校文化祭	田口高校
11月3日	日	第16回とよねみどり湖ハーフマラソン	みどり湖周辺
〃	〃	東三河教育長会議	東三河県庁
11月7日	木	愛知県町村教育長協議会研修会	三の丸庁舎
〃	〃	新城設楽地区地域で子どもを育むための交流会	
11月9日	土	令和7年度豊根小学校学芸会	村民ホール
11月14日	木	へき地芸術教室	役場第3会議室
11月18日	月	北設楽地方教育事務協議会⑤	役場第3会議室
11月19日	火	東三河地区地域協働生徒指導「地域のつどい」	ライブポートとよはし
11月25日	月	三河部都市・町村教育長協議会	蒲郡市民会館
11月27日	水	北設楽郡小中高等学校生徒指導連絡協議会	奥三河総合センター
12月4日	水	揖斐郡大野町教育委員会視察（部活動地域移行）	岐阜県大野町教委
12月7日	土	第17回愛知県市町村対抗駅伝競走大会	愛・地球博記念公園
12月15日	日	北設スポーツ教室（ドラゴンズ野球教室）	東栄中学校
12月16日	月	新城設楽地区県立高校在り方協議会	新城設楽総合庁舎
12月19日	木	教育委員会会議	ふれあい会館和室
12月23日	火	豊根村教育支援会議	保健センター
1月2日	木	豊根村成人式～二十歳を祝う会～	とよね村民ホール
1月8日	水	定例校長会議	ふれあい会館和室
1月9日	木	教職員定期人事異動人事面談	設楽教育指導室
1月14日	火	三河部都市・町村教育長協議会	岡崎市役所
1月19日	日	新城設楽地区PTA情報交換会	村民ホール
1月23日	木	教職員定期人事異動人事面談	設楽教育指導室
1月23日	木	東三河地区学校保健連絡協議会	新城市役所
1月24日	金	東三河教育委員会教育委員代表者会議、教育委員研修③	蒲郡市民会館
1月27日	月	サウジアラビア王国ビンザグル大使小中学校来校	豊根中学校
1月29日	水	学校給食調理場運営会議	中学校会議室
2月6日	木	市町村教育委員会連絡会議	Teams
2月7日	金	北設楽郡小中高等学校生徒指導連絡協議会	田口高校
2月15日	土	飛島村スキー交流会	茶臼山高原スキー場
2月18日	火	元文化財室小川芳範教授訪問（熊谷家保存管理）	立命館大学
2月19日	水	鳥取環境大学浅川滋男教授 熊谷家視察	熊谷家、村長室
2月20日	木	北設楽郡研究発表大会	設楽中学校
2月25日	火	北設楽地方教育事務協議会⑥、教育委員研修④	豊根村基幹集落センター
3月7日	金	豊根中学校卒業式	村民体育館
3月13日	木	学校運営協議会③、地域学校協働本部会議	中学校会議室

3 月 17 日	月	豊根村総合教育会議	ふれあい会館
3 月 19 日	水	豊根小学校卒業式	豊根小学校